

ひまわり

社会福祉法人 福寿園 機関紙



愛と感謝と奉仕



第18回 福祉の絵手紙 優秀賞受賞作品 斎藤 文女 様

- 2 ▶ 3 経営ビジョン・経営方針
中長期経営計画の改定について
- 4 連載vol.55 [記録に残したい記憶]
～貴重な体験を語り継ぐ～
- 5 ▶ 8 各施設トピックス
- 9 ▶ 10 福寿園ニュース
- 10 家族会だより
- 11 連載
 - 外国人介護士紹介インタビュー
 - ひまわりギャラリー
 - 施設長・管理者のリレーコラム
- 12 第19回福祉の絵手紙作品募集

164号

令和4年7月10日

経営ビジョン・経営方針を改定しました

福寿園には創立以来変わらぬ「愛と感謝と奉仕」の経営理念があります。それを具現化するため経営ビジョン、経営方針を平成14年9月に制定しました。その後20年が経過する中、福寿園の事業は今や高齢者だけでなく、障害児童、保育へと全世代型の福祉サービスに広がりつつあり、さらに学校経営も行うようになりました。

そのため、法人の中長期経営計画の見直しと併せて、「経営ビジョン」「経営方針」等の各指針の見直しを行いました。

改定された新たな経営ビジョン・経営方針は「関わるすべての人」「人の生きる」を共に支える「ひとつ確かな持続性」といったキーワードを織り込みながら全世代型の地域共生社会やSDGsの実現に向けた内容となりました。また、経営方針は、法人創立40周年のテーマとなつた「FUKUJUEN SPIRIT」で表す「信念」「情熱」「挑戦」の精神を一人ひとりの職員の姿勢として示しています。

経営ビジョン

私たちは、地域共生社会の実現に向けて、つねに「ひとつ上」の目標を掲げ、より質の高いサービスをお届けするとともに、ご利用者や地域の方々と力を合わせて、「人の生きる」を共に支える文化を創造し、育んでいきます。

1. ひとつ上の“信頼性”

関わるすべての人から愛され、頼りにされるパートナーになることをめざします。

2. ひとつ広い“公益性”

誰ひとり取り残さない未来のために、社会のセーフティネットとしての役割を果たしていきます。

3. ひとつ確かな“持続性”

今だけでなく、将来にわたってずっと明るい希望が持てるよう、あらゆる環境変化に対応していきます。

4. ひとつ豊かな“創造性”

生きがいと潤いのある豊かな暮らしを提案し、関わるすべての人がキラキラと笑顔で過ごせる新しい生活スタイルを築いていきます。

5. ひとつ深い“人間性”

ご利用者とのふれあいを通して私たち自らが学び、成長し、あたたかい心の輪を広げていきます。

平成14年9月1日制定
令和4年4月1日改定

経営方針

私たちは、「愛と感謝と奉仕」の心に徹し、つねに「ひとつ上」をめざしたビジョンを掲げ、関わるすべての人、そして時代のニーズにきめ細かくお応えしていくため、福寿園スピリットを胸に「2M」の実践に努めます。

2M 2つのMを大切にし、社会福祉法人としての経営責任を果たします。

Management【マネジメント】経営

〈健全経営を旨として、事業の安定化をはかります〉

- ◇多様化・複雑化するニーズに応える先駆的な取り組みの推進
- ◇多角化・多機能化による経営メリットの確立
- ◇経営資源の有効活用とより高い効率性の追求
- ◇あらゆるリスクに対応できる危機管理能力の強化
- ◇事業運営の透明性確保による理解と信頼性の向上

Mission【ミッション】使命

〈社会福祉の実践を通して、よりいっそう社会へ貢献します〉

- ◇自主性および自律性を発揮した責任ある行動
- ◇福祉の心をはぐくむ人造りとサービスの質の向上
- ◇グローバル人材の育成と国際貢献
- ◇関わるすべての人とのコミュニケーションによる絆作り
- ◇現代ニーズだけでなく、将来世代の可能性を考えた構想



福寿園スピリットとは
信念…困っている人たちを決して断らない覚悟
情熱…仕事やサービスブランドに対する誇りと情熱
挑戦…将来を見据え、常に新しい事業に挑戦する精神

平成14年9月1日制定
令和4年4月1日改定

中長期経営計画の中間評価と見直しについて

令和4年6月2日に行われた理事会において、中長期経営計画の改定案が上程され、理事長から説明を行い全会一致で承認されました。

福寿園では、来るべき2025年問題等に対応するため、2016年から向こう10年間の中長期経営計画を策定いたしました。その後、6年が経過する中、その先の2040年問題、さらには法人を取り巻く状況

も大きく変化してきました。ここで一度、計画の中間評価を行い、その上で法人を取り巻く環境や、事業の実態に即した見直しと、残り4年間の先を見据えた計画を策定いたしました。

法人の持続的成長と体质強化へ向けて

2025年間 その先2040年問題



10年間を見据えた基本構想 (グランドデザイン)

- 1.人財ビジョン
- 2.サービス品質とブランド化
- 3.施設整備と建替計画
- 4.グローバル化
- 5.経営組織とガバナンス
- 6.持続的成長と健全経営

夢ある未来の福寿園へ

利用者・職員・関係者の幸せのために

また、計画の改定にあたり、中間評価を行いました。計画の柱となる6つの項目の評価を行い、当初の計画や目標どおり概ね順調に進捗していると評価いたしました。一方、施

改定により新たに追加された主な内容等は次のとおりです。
設置整備計画は、市町の要請もあり当初計画に新たに加わった内容もありました。また、当初計画では、介護の専門学校の経営も将来ビジョンとして描きましたが、田原福祉グローバル専門学校の開校により実現することができました。

①人財ビジョン

2021年4月より新たに開校した田原福祉グローバル専門学校の開校による、さらなる幅広い人財確保

えた施設整備・建替・改修計画

④グローバル化

・4つの受入れルート(EPA、技能実習制度、特定技能、留学生)による海外人財の受入れ支援
・海外連携拠点の拡充

⑤経営組織とガバナンス

・各事業の収入確保と向上の明確化
・各事業の専門マネジャーの育成

⑥持続的成長と健全経営

・地域共生社会の実現に向けた、新たな事業展開
・持続的成長の道筋、収入の確保と支出の適正化

連載 ⑤

記録に残したい記憶 ～貴重な体験を語り継ぐ～

貴重な体験を次世代へ伝えていくため「記録に残したい記憶」として、ひとりの方にスポットをあてて体験談をご紹介していきます。



大好きな子どもたちと一緒に

私は広島県世羅郡世羅町で2男5女の7人兄弟の3女として生まれました。小さい頃から妹たちの面倒をみて、農業を手伝って生活しました。戦争で兄を亡くし、広島に原爆が落とされたときには、きのこ雲を見たことを覚えていました。高校卒業後、家事と農業を手伝っていましたが、20歳で嫁いで名古屋に来ました。嫁ぎ先是大人数の家庭で、食事の支度や世話など家事が大変でしたが、持ち前の明るさで、仲良く楽しく生活しました。少し余裕ができた頃、子どもの面倒を見るのが好きだったので、自宅に近くの小学生を集めて、自宅に近くの小学生を集め、ボランティアで勉強を教えていました。自分の子どもも達も一緒に参加し賑やかでした。

36歳のとき豊田市に転居し、知り合いから知立の幼稚園で働くかないかと誘われ、乳幼児の担当をすることになりました。幼稚園の先生方は若

く未婚者ばかりで、私は子育てを終えていたので、「乳幼児の扱いに慣れていて、アドバイスが的確」と先生方や親御さんに信頼していただきました。その後園児の結婚式にも招かれ、今でも交流があります。50歳頃には、近くの小学校にあった「学童

保育」の指導員として、大好きな子ども達の面倒をみっていました。60歳頃、学びたいという気持ちが強くなり、詩吟、書道、俳句などを学びました。展覧会や発表会にも参加し、たくさん賞をいただきました。ボランティア活動にも目覚め、毎朝5時頃から1時間程度かけて町内のゴミを拾って歩きました。また、仲間と一緒に町内のボランティア活動を立ち上げ、花作りや小学校での活動などをしました。町内の高齢者が孤独にならないようにと「ふれあいサロン」という集まりを作ったことはいい思い出です。現在も、近くの自治会館に町内の高齢者が集まり、週1回体操やゲームをしたりしています。どちらも今まで25周年になりました。

子どもが好きで、世話好きで、頼まれたことは最後までやり抜こうと頑張り、人生を突っ走ってきました。3年前に脳出血で倒れ、右半身が動かなくなり、食事の咀嚼ができず言葉も出なくなりま



発表会の舞台にて



田中百合子
(ひまわりの街)

プロフィール

生年月日	昭和6年12月18日
趣味	ガーデニング、童話を歌うこと
性格	世話好き、穏やか

各施設 TOPICS トピックス

午後のおやつの時間は、毎回様々なメニューで皆様に美味しく召し上がっていただいていますが、今回はより楽しいおやつに、「アイスバイキング」と称し、独自のアイス作りを計画してみました。

開催は6月中旬で、それまでの暑さから

アイスバイキング

花の里デイサービス

一軒し、雨で涼し気な日でしたが、アイスは大好評。バニラと抹茶黒蜜、イチゴやチョコのソース、きな粉や白玉黒蜜、ポツキーやウエハース、カーチップ等の沢山のトッピングを用意し、ご自由に選び、独自のアイス作りを楽しんでいただきました。お互いのアイスがどんな味だったか楽しそうに聞き合う声があちこちから聞こえ、たくさんの笑顔であふれています。



だき大盛況です。各事業所のケアマネジャー様からも好評をいただいております。ご利用者は、「ムキムキになつちゃうよ！」と筋力トレーニングに励んでおります。そのような元気な姿を見ていると、職員も触発され活気が出てきます。

ひまわりの街いきいきプラザにリハビリ機器が導入され、早くも一年が経過しました。たくさんのご利用者にご愛顧いた

ひまわりの街

いきいきプラザから元気を発信

だき大盛況です。各事業所のケアマネジャー様からも好評をいただいております。ご利用者は、

6月22日にスナックを開催しました。普段の生活ではあまり食べないような、でも、昔は食べていたろうジャンキーな物を取り揃えました。ハンバーガーやカップヌードルなどを揚げ物を取り揃え、お腹一杯食べていただきました。カップヌードルを食べながら、令和元年に皆さんで漬けた三

年物の梅酒をいただき、ほろ酔い気分で楽しみました。「昔はもっと沢山食べられたんだけどくな！」などと話をされたり、「カップヌードルってこんなに美味しかったっけ！」など職員との話も盛り上がっています。

田原福寿園 スナック美香 開店

本年度ケアハウス武豊では、入居者には、手伝つてもらひ、玄関を折り紙などで作り紙などで作製した季節の花で飾る取り組みを行っています。6月の季節の花は、「紫陽花」です。



おしゃべりで頭を使い、折り紙で指先を使って、樂しく時間を過ごします。ケアハウスの玄関も華やかになりました。次の季節の花が何になるか、今から楽しみです。



ケアハウスパシフィック

七変化のきらめき

ケアハウスパシフィックの代名詞である紫陽花たちが、今年も美しい彩りを見せてくれています。

正門前から正面玄関に続く緩やかなカーブを、赤紫・青・ピンク・白と色々でなく、濃淡様々に艶やかなたくさんのお花が色鮮やかに飾ります。入居者の方々は、この時



雨上がりの庭下がり。中庭から豊田福寿園産の苔を採取し、苔玉作りが始まりました。自分の気に入った苗をいち早くゲットし、その優しい手で土を力いっぱい丸め土台を作り苔を付けていく…職員の慣れない手つきに利用者さんが先生となり、教えてくださいました。まんまるやら、少し鏡餅みたいなつたものまで、愛着のわく苔玉がたくさんできました。若い頃よく手についていた土のぬくもりに触れ、利用者さんの顔が、より一層優しい笑顔でいっぱいになりました。その愛情いっぱいのんだ苔玉たちは、今日も、もふもふ・ころりん育っています。



もふもふ・ころりん苔玉作り

豊田福寿園

季だけの素敵な花道を愛でながら散歩しています。そして、施設内の喫茶では

紫陽花にちなんだメニューが提供され、憩いの時間を爽やかに装います。

梅雨空にも映える光景は、入居者の方々に癒しと彩りを贈ってくれます。

ケアハウスきぬうら

居酒屋+ビアガーデン

6月16日、リフレッシュ企画で「居酒屋+ビアガーデン」を行いました。

食堂内と、食堂南外の芝生横を利用して、テントと提灯で飾り付けました。今回は事前にメニューのアンケートを行い、新鮮な刺身の盛り合わせを加え、大人気でした。BGMも居酒屋に演歌を、ビアガーデンにはジャズやボサノバを流し、良い雰囲気の中、「外で飲むのもいいね」「刺身も美味しい雰囲気もいいよ、お酒も進む」と、あまり外出できない入居者さんたちから、笑顔で大絶賛。外に出られない分、外食気分で楽し

ひまわり邸

父の日café

6月19日は父の日と

いうことで、男性利用者のご家族にお声掛けし、カフェで昼食や喫茶と一緒に楽しんでいただきました。男性利用者7名中、5名のご家族に来ていただけました。



メニューで対応しました。

久しぶりに家族と一緒にご飯を食べるので、利用者の皆さんもとても喜んでくれていました。また、ご家族からも「久しぶりにゆっくりと話しながら食事が

各テーブルにお花を用意し、喫茶でき、良かった」と言っていただけ

ました。



ケアハウス みなみ

JOY体操クラブの合言葉は

6月から本格的に、月・金曜日で

「JOY体操クラブ」

が始まっています。合言葉は「ラッキー、ミッキー、大好きでがんばりましょう！」です。

参加されている方の笑顔が増えていきます。

認知症予防のため、音楽療法をベースに音楽を聴きながら、ゆっくり深呼吸、瞑想タイム。毎回一人の方の想い出の歌を合唱し、そ



は有酸素運動にもなり、音楽健康福タート。歌しながら体を動かすこと

東海福寿園「デイサービスセンター」
レトロ写真館

では、ご利用者の若かりし頃の写真を募集し、「レトロ写真館」としてフロア内に展示しました。

社士の資格を持つ相談員からの声かけに、参加者もヒートアップし、最後には、一緒にに行う職員の方がヘトヘトに。

また、みなみ福寿園デイサービスでも同様に、月～土に実施しています。利用者の方々の歌声をお聞かせできないのが残念ですが…。

田原ゆの里デイサービス 一つだけの花に

が多いので、異なる花でも挑戦していきたいです。



田原市の菊農家さんがJRしているのをきっかけに、輪菊の花びらを

カラフルに染める「カラーリングマム」に挑戦しました。始めは色が上

手く入りませんでしたが、時間が経つにつれてきれいな色が入っていきました。浸す時間や染料の配合によつて、一つひとつ仕上がりが異なり、「理科の実験みたい！」と皆さん楽しんでいただけたようです。デイサ

ービスの利用者さんは花が好きな方

温泉特別浴

渥美福寿園ショートステイ

田原市の伊良湖で温泉が出たことを、皆さんご存じですか？誰でも購入ができる、源泉をお湯で薄めて使うそうです。渥美福寿園のショートステイ利用者に、この伊良湖

温泉をポリタンクに準備し、循環浴槽に入れるのは難しいそうなので、かけ湯や足湯で温泉気分を楽しんでいただきました。泉質は弱アルカリ性で、効



能は美肌や冷え性に効果があるそうです。皆さん「肌がつるつるになつた気がするよ」と好評でした。今後もお風呂を楽しんでもえるように、季節浴を企画していきます。

昭和の里

菖蒲の花にうつとり

コロナ禍でなかなか外出できずになりましたが、久しぶりに、豊橋市賀茂町で開催されている菖蒲まつりへ出掛けました。

天気にも恵まれ、人々のお出掛けには最適。紫色、黄色、白色と色とりどりの菖蒲の花に足をとめ、「昔より色の種類や数が増えてきれい」「昔は子供と一緒に散歩に来たな」と懐かしむ声も聴かれました。中には人々の外出での景色に、ポケ



めざせ！元気な100歳！

毎週水曜日13:30から「まちかど体操クラブ」を実施しています。これは、知多市が介護予防事業として65歳以上の市民を対象に行っている、「気軽に通える健康づくり教室」です。講習を受けた職員がサポートしながら、「いきいき百歳体操」を中心、ラジオ体操やボール、棒を使用した運動を1時間半ほど



重りを使つた7種類の筋力づくり、バランス運動で構成されています。DVDを見ながら実施するため、初めてでも気軽にできます。最初は5人定員で開始しましたが、すぐに満員になり、現在は10人定員でキャンセル待ちの状態になっています。

くすのきの里

フットバスサロン開催

5月25日、特養のすずらん・ぽたんユニットにて、フットバスサロンを開催しました。フットバスは血行が良くなり、冷え性やむくみ、代謝の改善に繋がります。おしゃれな洗面器にバスミルクの入ったお湯を入れてアロマの香りをさせ、ヒーリングミュージックを流し、フットバスサロンの雰囲気を作りました。会話をしながら職員が入居者の足をマッサージすると、



今日の運勢は何か？

皆さんは、健康のために何か取り組まれていますか？

養護盲ではお散歩を取り入れている方が多く、中でも四季の丘の観音様まで、毎日お参りされている方も多くみえます。観音様の隣には職員



「気持ちよくて寝ちゃいそうだな」とリラックスしながら、喜ばれました。これからも、入居者の方々に喜んでいただける企画を考えていきた

お手製のおみくじがあり、こちらも楽しみの一つとなっています。そんなおみくじもだいぶ古くなってきたので、9年ぶりにリニューアルしました。それに合わせて、おみくじの入れ物を、木工細工が得意な入所者さんが製作してくれました。観音様の隣に設置してもなじむデザインで、廃材を利用しているようには見えません。細部にまでこだわって作ってください、屋根に張り付けた「ムシートはまるで本物の瓦のようです。これでおみくじが雨に濡れにくくなりました。おみくじも新しくなり、皆さんのお散歩やお参りが、より楽しくなったようです。

養護盲福寿園

マナー研修会



5月20日に本部ひまわりホールにおいてマナー研修会が開催されました。新卒の事務員や生活相談員等、今年度より新たに窓口業務を担当する職員を中心に15名が参加しました。研修は、印象コンサルタントの原山ナオ先生のご指導により、マナーの基本や立ち振る舞い、電話対応、お茶出し、受付等の基本的なビジネスマナーを幅広く学ぶことができました。コロナ禍により、マスクで表情が見えなくても、目元を意識しながらお相手に優しい印象を感じていただくことも学ぶことができました。

これからも、来園者が玄関を入られた瞬間から温かみを感じていただける接客を心掛けていきたいと思います。

調理員2年目・3年目研修

田原福祉グローバル専門学校において、調理員・栄養士対象に、5月18日に2年目研修を行い11名が参加し、また6月21日には、3年目研修を行い7名が参加しました。それぞれの年数に応じて、『福寿園の食の理念』や衛生管理に関する講義、調理実習、一日の振り返りの討議を行いました。実習においては、各々の料理を見比べ、食べ比べてみてことで、灰汁とりや煮含めることの大切さを学ぶことができました。1年目から3年目までは、年に一度ずつ研修を行うシステムが整いましたが、1年ごとに成長していく様を確認することができ、頼もしく感じました。忙しい毎日ですが、日々の仕事を淡々とこなすのではなく、『人を幸せにするおいしい食事作り』という目的を見失わないように、自身の食生活も大切にしてほしいと願っています。



第15回法人「福祉QC」発表大会開催

コロナの影響で開催を見合わせていました令和3年度の法人福祉QC発表大会を、5月30日に開催しました。昨年度は、法人全体で84サークル635人の職員が福祉QC活動に参加。それぞれが福祉施設における問題点を明確にし、具体的な問題解決に取り組みました。

各施設発表大会で選抜された12サークルが、法人福祉QC発表大会に挑み、その結果、東海福寿園厨房のサークル“キッチンズ”による、「(テーマ)安全で働きやすい厨房にしよう」が最優秀賞に輝きました。

また、今年度につきましてもそれぞれサークルが立ち上がり、1月の施設予選に向けて、福祉QC活動をスタートさせています。



Café2910東海テレビ「スイッチ」取材を受けました



東海テレビ「スイッチ!」から、愛知・田原の旅を提案!「昨年オープンした学食カフェの魅力を紹介」という企画で取材を受け、Café2910が5月27日にテレビ放映されました。

当日のロケには、芸人のやす(すん)さんとジョニ男さんが訪れました。田原福祉グローバル専門学校の銘板、外観の紹介からスタートし、学校の中へ。「今話題のカフェがあると聞いたんですが…」さっそくお二人を連れて学食カフェへ。カフェの外観から中のいたるところを芸人ならではのギャグトークを交えながら窓際のソファー席へ。今が旬のブルーベリートーストを食べていただきました。「ブルーベリーグッド!」「三位一体の突き抜ける美味しさ」など、ナイスコメントをいただきました。

皆さんもぜひ、今が旬のブルーベリートーストを食べにCafé2910へお越しください!

お知らせ 令和3年度 決算書の閲覧 について

令和3年度の事業報告及び決算報告につきまして、法人本部などで閲覧することができます。

食品衛生優良施設表彰

昭和の里

この度、昭和の里が、愛知県豊橋市食品衛生協会豊橋支部から令和4年度食品衛生優良施設に選ばれ、表彰されることとなりました。れすとらんタやけとぱん工房小やけは、障がい者の働く就労継続支援センター(A型)です。こういった評価をもらえたことは、働いている障がい者の励みにもなり、何より清掃作業を行っている方も多く、自信につながりました。今後も衛生的な優良施設として頑張っていきたいと思います。



久しぶりの家族会行事としての開幕は、繊細で独特的な旋律を奏でる中国琵琶の音色と、奏者のティンティンさんの哀愁を帯びた歌声に始まり、ひまわりホールに集まつた皆さん的心に深く届けられました。会場がやさしさに包まれる



養護院・田原福寿園 中国琵琶と和太鼓の集い

各施設での家族会や家族親睦会の活動を報告します。

ひまわり邸 家族会ボランティア

6月26日に、21家族31名のご家族に来ていただき、施設内の清掃活動をしていただきました。網戸の張替えなど、普段なかなかできない作業を優先的にしていただきました。久しづぶりの家族会行事としての開幕は、繊細で独特的な旋律を奏でる中国琵琶の音色と、奏者のティンティンさんの哀愁を帯びた歌声に始まり、ひまわりホールに集まつた皆さん的心に深く届けられました。会場がやさしさに包まれる

なか、次なる舞台は、「願成・観音寺、宮本住職の計らいもあって実現することができました。中国伝統楽器の二胡の演奏と日本伝統の和太鼓のコラボレーションは、余韻を残しながら誰もの心に深く刻まれたこと思います。

今回の企画演出は、福江町の潮音寺、宮本住職の計らいもあって実現することができました。中国伝統楽器の二胡の演奏と日本伝統の和太鼓のコラボレーションは、余韻を残しながら誰もの心に深く刻まれたこと思います。

6月26日に家族会ボランティアとして、施設内の清掃活動をしていただきました。コロナ禍により3年ぶりの開催となりましたが、17家族22名の方に参加していただきました。ご家族の方からは、「開設して4年たつたけど綺麗にしてくれてありがとうございます」という言葉をいただきました。今回はコロナ禍のため、ご家族の方との食事会はできませんでしたが、地域のお店に注文したおいしい弁当をお持ち帰りいただきました。また、食事懇談会を開催し、ゆっくりご家族ともお話ができる日を心待ちしております。

家族会だより

ちた福寿園 家族会ボランティア活動



New

連載

施設長・管理者の リレーコラム

地域密着型複合福祉施設 ひまわり邸

管理者 加藤 雅也



流行りにのってみた



アウトドアブームに乗っかり、キャンプを始めてみました。自然の中で過ごす時間は、普段の生活では味わえない感覚であり、薪を焚べながら話をしたりお酒を呑んだりして、のんびりとした時間を楽しんでいます。お酒を呑みながら作る料理もキャンプの楽しみの一つであり、作ったものをお酒のつまみに、普段以上にお酒も進みます。のんびりお酒を呑む時もあれば、みんなとワイワイ話をしたりと、その時の気分で楽しめます。

キャンプで呑むお酒もおいしいですが、しっかりお酒を呑んだ後に迎えた朝のコーヒーは、キャンプに来て良かったなと思える一杯です。

非日常的な体験が楽しさに繋がり、自然の中で過ごすことで気分もリフレッシュされます。

今では、自分好みのキャンプ用品を見たり探したりして、次にキャンプへ行くまでの楽しさに繋げています。また同僚の中にもキャンプをやっている人も多く、今度は各施設のお酒が呑めるキャンパーを集めてキャンプをやってみたいです。

次号は、くすのきの里の吉井施設長へバトンを渡します。

福寿園では、現在106名(フィリピン人 71名、ベトナム人 33名、インドネシア人 2名)の外国人介護士が各施設で働いています。毎号一人ずつ紹介します。

連載

外国人介護士 紹介インタビュー

Q 日本で働いてみてどうですか?

A 日本で働くことが私の夢でした。最初は大変でしたが、フィリピン人の同僚と一緒に施設で働くことで、家にいるような気分になります。

Q 日本に来て一番驚いたことは何ですか?

A 文化の違いです。食べ物は、私たちが一緒に働いた人々と同じくらい素晴らしいです。

Q 好きな日本食、嫌いな日本食はありますか?

A 好きな食べ物がたくさんあります。特にイカのパスタやラーメンも素敵です。私が食べられないのは、納豆です。

Q 日本で行ってみたいところはありますか?

A 日本のあちこちに行ったことがあります。次に行きたいのは、鳥取砂丘です。

Q 将来の夢はなんですか?

A 将来の私の夢は、猫と犬と一緒に自分の家族を持ち、安定した仕事をし、自分のビジネスをすることです。

Q コロナが落ち着いたら、何がしたいですか?

A もう少し旅行して、家に帰って両親に会いたいです。

Q 最後に一言お願いします。

A 「塵も積もれば山となる」このフレーズは私にとって非常に重要です。



ランチエスメイ
ダイアン サングタン

ニックネーム
ダイアン

みなみ福寿園
国籍: フィリピン



ひまわり キャラ

入居者・
利用者さんの作品
をご紹介いたします。

作品
アームバンド



養護盲福寿園ショートステイ利用者 山田 すみ子さん

昔からビーズで作品を作ることが好きで、他にキーホルダーも作ります。プレゼントすると喜んでいただけるので、作ることがとても楽しいです。

第19回 福祉の絵手紙 作品募集

募集期間 令和4年 8月31日(水)

消印有効

【応募資格】高校生以上で福祉の心を伝えたいと思っている方

【使用画材】自由
※パソコン・タブレット端末での描写は不可

【応募方法】1人1点まで

【裏面】所定の応募用紙(福寿園各施設に置いてあります)または普通はがきサイズの用紙に作品を描いて下さい。

【表彰・発表】賞状および副賞を贈呈いたします。
令和4年11月に福寿園のホームページ
「機関紙ひまわり」にて発表。
その後も優秀作品は施設内での展示やHP、
機関紙にてご紹介いたします。

【作品送付先】
愛知県田原市六連町神ノ釜9-3
福寿園 第19回「福祉の絵手紙」係まで
〒441-3413

【表彰・発表】

賞状および副賞を贈呈いたします。
令和4年11月に福寿園のホームページ
「機関紙ひまわり」にて発表。
裏面に必要事項の記入がない場合は無効となる
その後も優秀作品は施設内での展示やHP、
機関紙にてご紹介いたします。

【その他の注意事項】



● 作品はオリジナルおよび未発表のものに限ります。
● 応募作品はお返しいたしません。
● 個人情報は本作品展の運営に必要な範囲内で利用いたします。応募者の同意なく利用目的を超えて利用することはありません。



令和4年7月10日発行

■発行/社会福祉法人 福寿園
■理事長/山田浩三

愛知県田原市六連町神ノ釜9-3 ☎0531-27-0008
<https://www.fukujuen.or.jp>

ISO9001/14001認証取得 ※ひまわりは再生紙を使用しています。

